

岐阜県議会だより

【No.2】平成27年11月号 発行／岐阜県議会 編集／岐阜県議会広報委員会

ホームページ [岐阜県議会](http://www.pref.gifu.lg.jp/gikai/)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/gikai/>

(議会の紹介、本会議の映像・概要等を掲載)

平成27年第4回岐阜県議会定例会（9月議会）を9月17日から10月8日まで開催し、知事から提出された一般会計補正予算、条例改正のほか、各種議案などについて、本会議や各委員会において審議しました。

また定例会の閉会中は、各委員会において、諸課題への対応や施策へ反映するため、県政上話題となっている施設や現場を伺い、実態把握、意見交換などを行います。



平成27年岐阜県議会 第4回定例会の概要

開会日（9月17日）に知事から提出された議案は、かかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアルや関ヶ原古戦場を核とした広域観光の推進など国の地方創生交付金を活用した事業のほか、インフラ施設の老朽化対策や集中豪雨等による災害対策などを内容とする約98億9千万円の増額を求める一般会計補正予算案をはじめとする予算5件、条例9件、平成26年度会計決算の認定3件、その他6件でした。

9月30日には、国家賠償等請求事件に係る「控訴の提起」1件が追加提出され、10月1日に可決しました。

9月30日から10月2日までは、県政全般にわたり一般質問を行い、知事や関係部局長の答弁を求めました。

10月2日には、議員から提出された「決算特別委員会の設置」1件を可決し、決算の認定3件については、引き続き審査することとしました。

閉会日（10月8日）には、一般会計補正予算など、開会日に上程された決算の認定3件を除く議案を全て原案どおり可決したほか、閉会日に追加提出された人事2件に同意しました。また、同日に議員から提出された8件の意見書については、「法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書」など7件を可決、「安保法制の強行採決に抗議し、違憲性の高い部分の撤回を求める意見書」を否決しました。請願については、「子宮頸がんワクチン被害者に対する既存予防接種健康被害者救済制度の早期運用開始を求める意見書の提出を求める請願」など4件を採択、「安全保障関連法の廃止を求める意見書採択についての請願」を不採択とし、「産業廃棄物処理施設の設置に反対することについての請願」を引き続き審査することとしました。

主な会期日程（22日間）

9月 17日	開会
18日	提出議案に関する説明会
25日	今定例会の請願・陳情書提出期限
30日	一般質問・質疑 追加提出議案に関する説明会、常任委員会
10月 1日	一般質問・質疑
2日	一般質問・質疑
5日	常任委員会
7日	特別委員会
8日	閉会

本会議における一般質問の内容 ～県政の話題・課題など～

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の内容について

今年10月末までを目途に策定が進められている「清流の国ぎふ」創生総合戦略の内容について質問しました。

質問

「清流の国ぎふ」創生総合戦略は、地方創生を深化させるための具体的な施策の方向性ととも、県下市町村の総合戦略の方向性を示す大変重要な計画です。これまで、各界各層や県民の意見を幅広く聴き取りしつつ策定が進められていましたが、最終版はどのような内容になりますか。

答弁

総合戦略では、5つの基本目標を立て、目標ごとに関係する施策を整理し、その施策に対する成果指標を設定しています。1つ目の目標は、「ひとを育む」です。子育て支援、教育、産業、スポーツ、文化などの人材育成に取り組みます。2つ目は、「しごとをつくる」です。学生が卒業後に県内の企業に就職・定着するための総合的かつ集中的な取り組みなどを実施します。3つ目は、「岐阜に呼び込む」です。様々なニーズに対応できる全県的な移住定住促進体制の構築などに取り組みます。4つ目は、「安心をつくる」です。障がいのある方々のための福祉、医療、教育、文化芸術施設の一体的な拠点整備を進め、支援機能の充実を図っていきます。5つ目は、「まちをつなぐ」です。各自治体が連携をして、観光や産業の振興、医療や地域福祉に取り組むことで、地域の活性化に向けた活動の裾野を広げていきたいと考えています。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて質問しました。

質問

トップアスリートを育成するためには、過酷な練習を課さなければならない一方で、選手生命に関わるような怪我をすることも避けなければなりません。全国でその育成が取り組まれているなか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどへ本県にゆかりのある選手を輩出するために、選手の強化策や育成をどのように考えていますか。

答弁

県が強化指定した選手の合宿や遠征などの経費の助成に加え、今年度からは新たに、疲労回復のためのボディケアや栄養補給の費用についても助成対象として拡大しているほか、「岐阜県スポーツ科学センター」において、フィジカルや映像の分析など、選手のニーズに応じたサポートを実施しています。

質問

国内のみならず海外からも高い評価を得ている飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアのように、世界に誇れる施設が県内にあるということは、大変喜ばしいことです。このトレーニングエリアへの海外ナショナルチーム合宿誘致について、今後の見通しはどのような状況ですか。

答弁

高地トレーニングエリアへの合宿誘致については、岐阜県とイギリスオリンピック委員会との間では東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等に関する協定や、フランス陸上競技連盟との間ではパートナーシップに関する協定の締結が予定されているほか、引き続き、アメリカ、オーストラリアへの誘致活動も行っていきます。



(エリア内「日和田ハイランド陸上競技場」)

教育現場における諸問題の解決に向けて

教育現場において教員や生徒が抱える問題の解決に向けた取り組みについて質問しました。

質問

学校が抱える問題の一つとして教員の多忙化が指摘されており、既存の対策や学校単位の取り組みのみでは到底解消できない状況にあります。教員が意欲と自信を持って教育活動に取り組み、児童生徒と向き合える時間を十分に確保するために、教員の多忙化の解消に向けてどのように取り組んでいきますか。

答弁

市町村教育委員会と連携して、学年・学級の運営業務や分掌事務についての具体的なスリム化の方策を示すなど、教員の負担軽減に取り組めます。また、教員が子どもへの指導に一層専念できる体制をつくるため、多様な専門人材を学校へ配置する「チーム学校」の拡充を国に対して要望していきます。

質問

自殺を未然に防ぐためには、幅広い観点から、複合的な要素が絡む児童生徒の自殺問題をとらえる必要があります。児童生徒の自殺を予防するために、どのような対策に取り組んでいきますか。

答弁

児童生徒に命の大切さを繰り返し教えているほか、教員に対しては、児童生徒が発するサインの捉え方などの校内研修を実施しています。また、児童生徒への定期的なアンケート調査などにより、抱える不安や悩みを把握した場合には、生徒指導主事や養護教諭などが連携して対処しており、深刻なケースには専門家のカウンセリングを行う体制も整えています。今後も研修会を拡充するなど、教職員や学校組織の対応力の向上を図り、児童生徒の自殺予防に取り組んでいきます。

かかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアルに向けて

平成29年度末にリニューアルオープンする予定の「かかみがはら航空宇宙科学博物館」の基本構想について質問しました。

質問

「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルにあたっては、航空宇宙をはじめとする産業の振興・人材育成や観光、あるいは地方創生の観点からも大きな効果が期待されています。そのリニューアル計画では、どのような機能を重視していますか。

答弁

「空・宇宙（そら）への挑み」という全体コンセプトのもと、「日本の航空宇宙技術史が俯瞰できる場」、「子どもたちに感動を与え、夢と誇りを育む施設」、「岐阜県の航空宇宙産業の力、文化を国内外へ発信する拠点」、「岐阜県における観光拠点施設」の4つの機能を持たせることとしています。

具体的には、国産ロケットエンジンなどの実物や人工衛星の実物大模型の展示、航空機の操縦ができるシミュレータ等の体験装置や3Dシアターなど、子どもたちの五感に訴える新たな施設を整備するとともに、オリジナルグッズの開発や近県と連携した産業観光ツアーの実施など、観光誘客の拠点としての機能も強化し、我が国を代表する航空宇宙博物館にしていきたいと考えています。



(展示イメージ「航空機ゾーン」)

杉原千畝「命のビザ」の世界記憶遺産登録に向けて

杉原千畝の「命のビザ」の世界記憶遺産登録に向けた取り組みについて質問しました。

質問

杉原千畝の功績である「命のビザ」の世界記憶遺産登録に向けた取り組みは、その登録のみを目的とした一過性のものとならないよう、多様で複層的な取り組みが必要です。県としては、どのような取り組みを行い、また、その取り組みを通じた県民意識の醸成をどのように図っていきますか。

答弁

戦争を知らない世代が多くなる中、戦争の悲惨さや命の尊さ、世界平和の大切さに加え、困難な状況下での杉原千畝氏による人道主義と博愛精神に基づく行為を広く県民に知ってもらおうとともに、このことを次世代へとしっかり引き継いでいくことが必要だと考えています。

このため、今年度作成する「ふるさと教育実践集」に取り上げ、広く県内の子どもたちへ普及啓発していくほか、世界記憶遺産への登録に向けては、杉原千畝氏にゆかりのある地域や海外の施設との連携を強化していきたいと考えています。



(杉原千畝)

◆一般質問では、22名の議員が延べ62項目について質問しました。

上記のほか、世界農業遺産認定に向けた取り組み、健康寿命の延伸、林業の振興、子育て・結婚の支援、県図書館の今後の展開、農畜水産物のブランド戦略・海外輸出、医療費の適正化、リニア中央新幹線の活用、防犯カメラの設置、へき地の医師確保、空き家対策、地域スポーツの推進 など

常任委員会における審査の内容 ～所管の委員会で各議案を議論・審査～

〈主な議論・審査事項〉

総務委員会

◆一般会計補正予算

【歳入補正：98億9,219万5千円の増額】

- 災害復旧事業や暮らしの安全・安心確保対策推進のための県債発行収入

【歳出補正：21億5,115万6千円の増額（当委員会関係分）】

- 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の終了に伴う基金残金の返還費用
- 東南アジア諸国向けの啓発宣伝費

質問

メディア戦略については相手方に与えるイメージが大切であり、質を落としたがゆえのマイナス効果も心配されますが、海外向け広報費として1,000万円では少なくありませんか。

答弁

東南アジア向けに岐阜県をPRするもので、約18カ国に対して、CMを20数回放映する予定です。有力メディアを活用し、予算の範囲内で効果的なCMをつくっていきます。

企画経済委員会

◆一般会計補正予算

【歳出補正：5億2,103万7千円の増額（当委員会関係分）】

- 「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルの推進
- 県内への企業誘致や本社機能移転促進のための企業立地促進助成事業

質問

県内への企業立地の促進に向け、用地や人材の確保をどのように進めていきますか。

答弁

用地については、今後6年間に県全体で300ヘクタールを確保することとしています。人材の確保については、地元市町村や県総合人材チャレンジセンターと連携したPR・支援を行っていきます。

◆一般会計補正予算

【歳出補正：21億8,183万5千円の増額（当委員会関係分）】

- 地域医療・介護の提供体制を整備するための基金積み立てと基金活用事業の実施

質問

特別養護老人ホームにおける多床室（たしょうしつ）改修の経緯や内容はどのようなものですか。

答弁

近年、入居者の居住環境の質の向上が求められていることから、経済的負担も少なく、利用しやすい面もある多床室について、間仕切りの設置など、プライバシーの保護に必要な改修を支援します。

- 県美術館における全国規模の新たな公募展開催に向けた準備費用

◆岐阜県アスベストの排出及び飛散の防止に関する条例の一部を改正する条例について

◆一般会計補正予算

【歳出補正：4億141万8千円の増額（当委員会関係分）】

- 荒廃山地の復旧整備や既存治山施設の機能回復など山地災害防止対策の推進
- 鳥獣害急増集落における防護と捕獲の一体的推進

質問

鳥獣害対策について、県は防護に力を入れているという印象がありますが、鳥獣の捕獲対策をどのように進めていきますか。

答弁

今回の補正予算で関連費用3,200万円を増額し、市町村から捕獲要望の多い二ホンジカについて、今年度の個体数調整のための捕獲目標を2,900頭増やします。

◆一般会計補正予算

【歳出補正：39億1,195万6千円の増額（当委員会関係分）】

- 老朽インフラ施設の安全確保など県民の暮らしの安全・安心確保対策の推進
- 今年度被災した道路・橋りょう、河川・砂防施設の災害復旧費用

【債務負担行為補正（当委員会関係分）】

- 被災者受入支援応急仮設住宅借上げ

質問

東日本大震災の被災県から本県へ避難されている方々に対する支援事業（応急仮設住宅借上事業）により提供している住宅の入居世帯・人数はどの程度ですか。

答弁

民間から借り上げた住宅としては、現在のところ、16世帯・51名の方に提供しています。

◆一般会計補正予算

【歳出補正：7億2,479万3千円の増額（当委員会関係分）】

- 高山警察署庁舎及び飛騨運転者講習センターの移転先の土地及び建物購入費

◆スクールバスの取得について

質問

特別支援学校のスクールバスの取得について、入札不調のため随意契約により購入することですが、入札不調の経緯はどのようなものですか。

答弁

東京オリンピックの開催などを見込んだ全国的なバス需要の増加が要因ですが、今後は事前の情報収集と早めの入札により、円滑に取得が進むよう対応していきます。



特別委員会における審議の内容 ～部局横断的に特定の案件を調査・検討～

地方創生対策特別委員会

【今回の調査・検討内容】

地方創生の岐阜県版総合戦略となる「清流の国ぎふ」創生総合戦略（案）を主な議題として、戦略の基本的な視点や目標、具体的な施策や評価指標について説明を受け、協議を行いました。委員からは、女性の活躍や子育て支援、大学と連携した地元企業への就職促進、県の長期構想との整合性などについて議論が交わされ、各地域の意向を踏まえた施策の推進や若者・女性の視点が必要であるなどの意見が出されました。

観光交流拡大対策特別委員会

【今回の調査・検討内容】

「体験型観光の促進について」を議題として、エコツーリズムとグリーンツーリズムを実施する団体から具体的な活動状況をお聴きしました。委員からは、利用者を増やすためには公共交通機関の利用やガイドツアーの周知、子供会などへの働きかけを進めてはどうかなどの意見が出されました。

また、「関ヶ原古戦場を核とする広域観光推進」について説明を受け、大規模な再現劇の開催、大河ドラマなどのテレビやゲームを活用したメディアミックスの取り組み、JRと連携した環境整備などについて議論が交わされました。

県有施設再整備対策特別委員会

【今回の調査・検討内容】

「岐阜県庁舎の再整備について」を議題として、新庁舎の規模、敷地利用、環境への配慮、長寿命化への対応などに関する検討状況や、再整備に対する県民からの意見募集の結果について説明を受け、再整備の基本構想について協議しました。委員からは、新庁舎の配置、議会棟や迎賓施設の機能、セキュリティ面のほか、相談室や駐車スペースなどの県民サービス施設のあり方について意見が交わされました。

今回の定例会において提出された議案等の議決状況

議員 提出案件

◆意見書 ※可決した意見書は国などへ提出し、その実現を求めました。

可決 7件

- 法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書について
- 地方創生の深化に向けた取組の充実・強化を求める意見書について
- 子宮頸がんワクチン被害者救済の拡充を求める意見書について
- TPP交渉結果の情報開示と万全な国内対策を求める意見書について
- 森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書について
- 空き家対策への財政支援の拡充を求める意見書について
- 学校教員の負担軽減を求める意見書について

否決 1件

- 安保法制の強行採決に抗議し、違憲性の高い部分の撤回を求める意見書について

◆その他

可決 1件

- 決算特別委員会の設置について

知事
提出案件

◆予算

可決 5件

- 平成27年度岐阜県一般会計補正予算
【補正額】(増額) 98億9,219万5千円 【補正後額】 8,017億415万8千円
- 平成27年度岐阜県地方独立行政法人資金貸付特別会計補正予算
【補正額】(増額) 1,520万円 【補正後額】 46億2,722万6千円
- 平成27年度岐阜県介護人材確保対策特別会計補正予算
【補正額】(減額) 8,964万5千円 【補正後額】 65万4千円
- 平成27年度岐阜県徳山ダム上流域公有地化特別会計補正予算
【補正額】(増額) 1億1,574万6千円 【補正後額】 13億5,381万8千円
- 平成27年度岐阜県流域下水道特別会計補正予算(債務負担行為の追加のみ)

◆条例

可決 9件

- 岐阜県職員退職手当条例等の一部を改正する条例について
- 岐阜県地方活力向上地域における事業税及び不動産取得税の税率の特例に関する条例について
- 岐阜県税条例の一部を改正する条例について
- 岐阜県個人番号の利用に関する条例について
- 岐阜県電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律施行条例を廃止する条例について
- 岐阜県アスベストの排出及び飛散の防止に関する条例の一部を改正する条例について
- 岐阜県消費者行政活性化基金条例の一部を改正する条例について
- 岐阜県立衛生専門学校及び岐阜県立看護専門学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例について
- 岐阜県流域下水道条例の一部を改正する条例について

◆人事

同意 2件

- 人事委員会委員の選任同意について
- 公害審査会委員の任命同意について

◆決算の認定

継続審査 3件

- 平成26年度岐阜県一般会計及び特別会計決算の認定について
- 平成26年度岐阜県水道事業会計決算の認定について
- 平成26年度岐阜県工業用水道事業会計決算の認定について

◆その他

可決 7件

- 岐阜県防災情報通信システム整備工事の請負契約について
- 神岡4期地区麻生野大橋上部工事の請負契約の変更について
- 新川尻橋上部工事の請負契約の変更について
- 徳山ダム上流域の山林の取得について
- スクールバスの取得について
- パーソナルコンピュータの取得について
- 控訴の提起について

請願

採択 4件

- 子宮頸がんワクチン被害者に対する既存予防接種健康被害者救済制度の早期運用開始を求める意見書の提出を求める請願
- 私立高等学校に対する県費補助金の増額等についての請願
- 法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的見直しを求める請願
- 福祉医療費助成制度(重度心身障がい者医療費助成制度)の継続を要望する請願書

不採択 1件

- 安全保障関連法の廃止を求める意見書採択についての請願

継続審査 1件

- 産業廃棄物処理施設の設置に反対することについての請願

委員会視察 ～県政上話題の施設・現場を訪問・意見交換～

総務委員会

[7/30～31、9/1]

- 木工技術を習得するための職業訓練を行う「県立木工芸術スクール」
- 大規模崩壊などを防ぐため、空洞充填工事が進められる御高町の旧亜炭鉱採掘跡 など



(県立木工芸術スクール)

企画経済委員会

[7/27～28、9/3]

- 名古屋市から美濃市へ本社機能を移転した自動車部品の鍛造加工メーカー
- 自動車、航空機、工作機械などの分野で技術支援を行う「県工業技術研究所」 など



(県工業技術研究所)

厚生環境委員会

[8/3～4、9/8]

- 飛騨南部地域の中核病院である「県立下呂温泉病院」
- 障がいのある方などへの就労支援や生活支援、自立支援を行う社会福祉サービス事業所「清流園」 など



(県立下呂温泉病院)

農林委員会

[7/16、8/20～21]

- 観光農業と6次産業化を進めている多治見市内の集落営農組織
- 今年9月本格稼働の長良川木材事業協同組合の大型製材工場 など



(大型製材工場)

土木委員会

[7/14、8/27～28]

- 昭和48年から60年にかけて建設された各務原市内の「県営尾崎住宅」
- 今年度内に供用を開始する予定の「和良金山トンネル(仮称)」 など



(和良金山トンネル(仮称))

教育警察委員会

[7/23、8/24～25]

- 園芸科学、食品科学、環境科学、園芸デザイン科を設置し、専門家の育成に取り組む「県立恵那農業高等学校」
- 今年7月に開館した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」 など



(県立恵那農業高等学校)

お知らせ

■ホームページのリニューアル

10月からホームページが新しくなりました。新たに、正副議長の活動記録や、問い合わせの多い政務活動収支報告の閲覧方法、県議会議長名による賞状の授与や県議会の後援名義の使用承諾に関する手続方法などを新たに追加しました。

■次回定例会の予定

次回定例会は、12月上旬頃開会の予定です。

※日程が決まり次第、ホームページでお知らせします。

編集後記

今年8月に発行を始めた広報紙の第2号を編集し終えました。これからも、県議会の活動に対して県民の皆様方により関心を持っていただけるよう、その内容を充実させてまいります。ご意見・ご感想などお付きの点がございましたら、是非お寄せください。

【岐阜県議会広報委員会】

お問い合わせ窓口
(ご意見・ご感想もこちらへ)

岐阜県議会事務局 総務課
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
TEL 058-272-8717
FAX 058-278-2802
E-mail c12159@pref.gifu.lg.jp



会派別議員数

(H27.10.8現在)

県政自民クラブ	31人
県民クラブ	6人
岐阜県議会公明党	2人
日本共産党	1人
無所属	6人
合計(定数)	46人(46人)